

日医発第 142 号 (総医 4)

平成 23 年 5 月 24 日

中央社会保険医療協議会
会長 森田 朗先生

社団法人 日本医師会
会長 原中 勝征

東日本大震災被災地視察のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、診療報酬について熱心にご審議たまわり、厚く御礼申し上げます。

さて、3月11日、東日本大震災が発生し、多くの方が犠牲となりました。行方不明の方も大勢おられ、被災地では避難生活が長期化し、多くの方が、心身の不調を訴えておられます。福島第一原子力発電所の問題もあり、災害は今なお現在進行中です。

被災地の医師、医療関係者は、家族を顧みることもなく、必死の医療をつづけています。日本医師会も、JMAT(日本医師会災害医療チーム)を組織し、被災地で懸命の医療を行なってまいりました。

しかし、被災地では、当たり前前の医療がありません。日本の国民皆保険の下で、医療を受けられない方があるのです。

被災地に一刻も早く、医療を取り戻さなければなりません。そのために、国およびすべての医療関係者が、東日本大震災からの医療再生に全身全霊を捧げるべきと考えます。

こうした思いから、日本医師会は、5月19日、厚生労働大臣に、来年度の同時改定見送りを要請いたしました。

また、東日本大震災の影響は、今後、全国に波及すると推察されます。このことも踏まえ、調査期間が昨年度末までである医療経済実態調査等についても、見送りを申し入れました。

本日は、日本医師会の思いをご理解たまわりたく、ぜひ、中医協委員の先生方に、被災地をご視察くださいますよう、お願い申し上げます。

日本の医療を担う先生方と、震災復興にかける思いを共有できれば、そして、そのことが医療再生につながれば、これほど有り難いことはありません。

森田朗会長におかれましては、ご多忙中、誠に恐縮ではございますが、是非とも、前向きにご検討いただき、委員の先生方のご視察をお認め下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2011年6月3日

医療経済実態調査の問題点について

- (1) 東日本大震災の影響により、調査期間である平成23年3月11日～3月31日のデータを正確に捕捉できない。
- ・ 被災地の調査が困難であり、また被災地の医療機関に負担をかける。
 - ・ 医薬品メーカーの工場などの被災により医薬品や医療材料の流通も混乱している。
 - ・ 被災地以外の地域でも、処方期間の調整を依頼しており、通常の処方環境にない。
- (2) 平成23年度は、東日本大震災の影響が全国に波及すると推察されるが、予定された形での調査では、その実態は平成24年度診療報酬改定に反映されない。

今回の医療経済実態調査では、平成21年度・平成22年度の年間データを収集する予定である。通常、平成23年度の実態は、平成22年度データと近似しているとして、平成24年度の診療報酬改定に反映されるが、平成23年度は、東日本大震災の影響が全国に波及し、事態が前年度までと激変していると推察される。

6月単月調査については、日本医師会がかねてより主張しているように、6月に発生しない費用は年間発生額を推計して記入することになり、特に小規模の診療所などでは推計が困難であることから、費用が小さく、逆に収支差額が大きく出やすいなどの問題がある。そのため、6月単月調査だけでは実態は把握できない(図1)。

支払基金から、平成23年度3月および4月のデータが公表されているが、被災地のレセプト受付件数は、前年度に比べて、大幅に減少している。(表1、表2、表3)。東日本大震災で被災し、患者一部負担金の支払いの免除を申請された方も、47都道府県すべてにわたっている(表4)。

図 1 医療経済実態調査の問題点

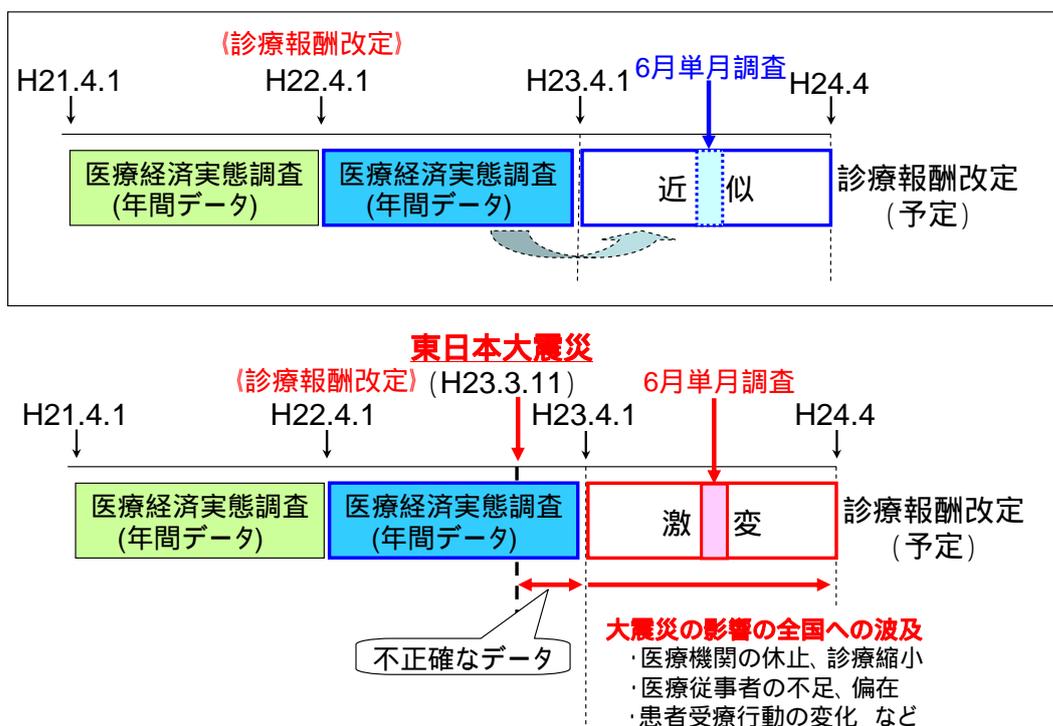


表 1 2011年3月診療分(4月処理)の受付状況

- ・ 医療機関等の罹災の多かった宮城県及び福島県において、受付件数の大幅な減少
- ・ 前年同月対比23～33%程度の減

(単位:千件、%)

		合計	医科	歯科	調剤	前年同月比(伸び率)			
						合計	医科	歯科	調剤
全国計		82,766	46,321	9,550	26,854	4.9	3.8	1.4	9.5
災害救助法適用地域	02 青森	737	407	70	259	3.2	5.3	5.6	1.0
	03 岩手	608	336	69	203	15.8	15.7	21.3	13.9
	04 宮城	1,061	573	114	374	25.7	26.4	32.5	22.1
	07 福島	920	512	97	311	22.7	24.5	27.6	17.8
	08 茨城	1,760	971	196	593	4.3	5.1	11.3	0.4
	09 栃木	1,267	751	139	376	2.6	3.7	8.8	2.1
	12 千葉	3,458	1,860	413	1,183	2.0	0.1	1.2	5.3
	15 新潟	1,394	756	160	477	2.3	1.7	3.1	5.2
	20 長野	1,143	667	137	339	6.9	5.9	1.2	11.3

*出所: 社会保険診療報酬支払基金「東日本大震災に伴う診療報酬等請求支払の状況について」2011年5月30日

表 2 2011年4月診療分(5月処理)の受付状況

- ・医療機関等の罹災の多かった宮城県及び福島県において、受付件数前年同月対比10%程度の減
- ・宮城支部の歯科医療機関の受付件数については、前月(32.5%減)と同様に大幅な減

(単位:千件、%)

		合計	医科	歯科	調剤	前年同月比(伸び率)			
						合計	医科	歯科	調剤
全国計		76,899	42,900	9,293	24,655	1.9	1.4	1.4	2.9
災害救助法適用地域	02 青森	781	429	70	281	4.6	3.4	0.7	7.9
	03 岩手	679	369	70	239	2.0	3.1	11.6	3.0
	04 宮城	1,197	645	125	427	10.2	11.8	20.4	3.9
	07 福島	1,002	558	105	338	8.5	10.1	14.7	3.5
	08 茨城	1,708	935	209	564	4.5	3.6	1.8	7.1
	09 栃木	1,179	694	143	341	2.7	2.1	1.0	5.8
	12 千葉	3,175	1,695	423	1,056	3.3	2.3	1.5	5.8
	15 新潟	1,601	868	173	560	22.7	22.6	12.6	26.4
	20 長野	1,120	652	128	339	12.3	12.0	2.2	17.3

*出所: 社会保険診療報酬支払基金「東日本大震災に伴う診療報酬等請求支払の状況について」2011年5月30日

表 3 被災に係るレセプトの提出状況

(東日本大震災と阪神・淡路大震災との提出件数の比較)

レセプト種別	東日本大震災				阪神・淡路大震災(平成7年)			
	4月	5月	6月	合計	2月	3月	4月	合計
災1	39,918	133,009		172,927	3,808	30,623	89,658	124,089
災2	344	176		520	76	37	0	113
災1・2以外	600	788		1,388	-	-	-	-
未確定	(3,774) 1	(5,550) 1		(9,324) 1	1府8県 974 2			974
合計	40,862	133,973		174,835	3,884	30,660	89,658	125,176

- 1 未確定レセプトの件数は、各レセプト種別の再掲である。
 - 2 未確定レセプトの件数は、月別の合計件数には含まれていない。
- 「災1」:一部負担金等の支払猶予措置が適用されるレセプト
「災2」:一部負担金等の支払猶予措置が適用される診療と、適用されない診療(被災前及び原発避難・退避前)を区分することが困難なレセプト

*出所: 社会保険診療報酬支払基金「東日本大震災に伴う診療報酬等請求支払の状況について」2011年5月30日

表 4 東日本大震災に係る一部負担金猶予の申請

(千円)

北海道	6,059	東京都	42,109	滋賀県	265	香川県	52
青森県	1,118	神奈川県	18,255	京都府	346	愛媛県	148
岩手県	100,049	新潟県	30,073	大阪府	703	高知県	26
宮城県	144,467	富山県	558	兵庫県	812	福岡県	517
秋田県	2,023	石川県	460	奈良県	48	佐賀県	47
山形県	19,299	福井県	93	和歌山県	82	長崎県	9
福島県	120,563	山梨県	1,087	鳥取県	20	熊本県	9
茨城県	12,859	長野県	2,565	島根県	7	大分県	167
栃木県	10,740	岐阜県	508	岡山県	53	宮崎県	46
群馬県	5,738	静岡県	737	広島県	137	鹿児島県	28
埼玉県	22,663	愛知県	1,414	山口県	169	沖縄県	535
千葉県	14,809	三重県	197	徳島県	908		

*出所：社会保険診療報酬支払基金「平成23年3月診療分(4月処理)診療報酬等請求支払額における概算請求支払額及び一部負担金支払猶予レセプト請求支払額・割合(医療機関所在地別集計),2011年5月30日